

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

平成27年度 (第7回) 会計実務検定試験 財務諸表分析

【1】

1	2	3	4	5
○	×	○	○	×

【2】 問1

流動比率	100%
固定長期適合率	100%
総資産負債比率	66.2%

問2

	①	②	③
A案	b	b	b
B案	c	c	b
C案	c	c	a

問3

ア	イ	ウ
a	b	c

【3】 問1

	分析指標名	前期	当期
①	総資産当期純利益率	△1.0%	2.3%
②	売上高販売費及び一般管理費率	22.7%	22.7%
③	経常収益経常利益率	1.6%	1.6%
④	営業資産営業利益率	4.7%	4.9%
⑤	総収益対総資産 (総資産回転率)	2.4回	2.5回

問2

ア. 通常の企業活動による収益性 (経常利益まで) の視点
 (売上高販売費及び一般管理費率) および (経常収益経常利益率) は同等である一方, (営業資産営業利益率) は当期の方が良い。ただし, その差はわずかなので, これのみではどちらが優れているかを判断できない。

イ. 企業活動全体の収益性の視点
 (総資産当期純利益率), (総収益対総資産 (総資産回転率)) のどちらをとっても, 当期は前期に比べて良くなっている。
 したがって, 総合的に判断すると当期の方が優れている。

問3

問2のイの結果の違いは, 前期の (※ 特別損失) が多額だったことが主な原因である。

※ 「投資有価証券評価損」または「減損損失」

【4】 問1
2,040 個

問2

	売上総利益	売上高営業利益率
A案	750,000 円	1.9%
B案	840,000 円	1.3%

問3
A案

【5】

問1

①	②	③	④	⑤	⑥
5.0	1.5	1.5	0.8	12.5	14.0

問2

(1)	(2)
b	b